

## 令和6年度 自己点検・評価結果報告書【研究】

推進責任者：研究・グローバル戦略担当理事

## 1.自己点検・評価の実施概要及び判定結果

自己点検の観点	自己点検・評価項目	実施方法	エビデンス	判定結果
研究の実施体制及び支援・推進体制が適切に整備され、機能しているか。 (A-1-①)	研究の実施や、研究を支援し推進する体制を整備していること	研究実施体制の整備状況を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員配置状況等関係資料 (R5.5.1)</li> <li>・科学研究費採択状況/外部資金受入状況</li> <li>・令和5年度科学研究費獲得状況の報告</li> </ul>	適切である
		研究支援体制や研究を推進する体制の整備状況を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度熊本大学URA体制図</li> <li>・技術部組織体制</li> <li>・技術部の主業務及び業務依頼の案内</li> <li>・設備共用促進の案内</li> <li>・令和5年度熊本大学共用設備利用促進セミナー開催通知 (第1回)</li> <li>・旋光計利用講習会</li> <li>・「第4期中期目標期間における研究力強化ための支援の方策」</li> </ul>	適切である
研究活動に関する施策が適切に定められ、実施されているか。 (A-1-②)	研究推進のための施策を実施し、公正な研究を推進していること	学内の資源配分に関する措置や研究に係わる規定の策定等を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「めばえ研究推進事業NEO」公募要領</li> <li>・令和5年度「めばえ研究推進事業NEO」採択一覧</li> <li>・令和5年度「めばえ研究推進事業NEO」配分額一覧</li> <li>・「クロス・フロンティア研究推進事業」公募要領</li> <li>・&lt;参考&gt; 令和4年度「クロス・フロンティア研究推進事業」採択一覧</li> <li>・令和5年度「クロス・フロンティア研究推進事業」配分額一覧</li> <li>・「国際先端研究プロジェクト」に関する要項</li> <li>・令和5年度「国際先端研究プロジェクト」支援対象一覧</li> <li>・令和5年度「熊本大学病院研究活性化プロジェクト」公募要領、採択一覧</li> <li>・令和5年度「科研費リトライ支援事業」実施要項、支援実績</li> <li>・PI等件費の支出により確保された財源の活用に関する取扱いについて</li> <li>・研究力強化財源活用制度の運用について</li> <li>・R5年度活用実績報告書</li> <li>・令和5年度研究推進会議議事要旨 (第1回～第7回)</li> </ul>	適切である
		公正な研究を推進し不正を防止する体制を整備していることを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公正な研究活動及び公正な研究費の執行を推進する体制 (図)</li> <li>・研究倫理教育受講状況：研究者及び事務職員 (R5年度末時点)</li> <li>・研究不正に係る誓約書提出状況 (R5年度末時点)</li> <li>・公正研究推進ハンドブック第4版 (R4.4発行)</li> <li>・公正研究便り (Vol.13～16)</li> </ul>	適切である

自己点検の観点	自己点検・評価項目	実施方法	エビデンス	判定結果
<p>研究活動の質の向上のために研究活動の状況を検証し、問題点等を改善するための取組が行われているか。</p> <p>(A-1-③)</p>	<p>研究活動の結果、当初の目的が達成されていること</p>	<p>間接経費を活用した事業等の実施状況、達成状況を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「めばえ研究推進事業NEO」審査及び評価要領</li> <li>・令和5年度「めばえ研究推進事業NEO」最終評価結果</li>   <li>・「クロス・フロンティア研究推進事業」審査及び評価要領</li> <li>・令和5年度「クロス・フロンティア研究推進事業」最終評価結果</li>   <li>・「国際先端研究プロジェクト」審査及び評価要領</li> <li>・令和5年度「国際先端研究プロジェクト」年次報告書</li>   <li>・「熊本大学病院研究活性化プロジェクト」令和5年度における評価結果</li>   <li>・令和5年度 科研費リトライ支援事業支援実績</li> </ul>	<p>適切である</p>
<p>研究活動の実施状況から判断して、研究活動が活発に行われているか。</p> <p>(A-2-①)</p>	<p>研究成果物の発出や共同研究の実施、競争的研究費等への応募が行われていること</p>	<p>研究成果物の発出状況を確認する。</p> <p>共同研究、受託研究の実施状況を確認する。</p> <p>競争的研究費等の応募状況を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文数及び被引用TOP10%論文数</li> <li>・特許出願数一覧（令和5年度実績）</li> <li>・熊本大学プレスリリース（令和5年度）</li>   <li>・共同研究、受託研究受入状況（外部資金受入状況より）</li> <li>・共同研究の推移</li>   <li>・令和6年度 科学研究費応募状況報告資料</li> <li>・その他の研究費への応募状況</li> </ul>	<p>適切である</p>
<p>研究活動の成果の質を示す実績から判断して、研究の質が確保されているか。</p> <p>(A-2-②)</p>	<p>研究活動の結果、競争的研究費等の獲得や外部からの評価、質の高い成果物の発出が行われていること</p>	<p>競争的研究費等の獲得状況を確認する。</p> <p>外部評価や受賞状況を確認する。</p> <p>質の高い研究を実施していることを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学研究費採択状況及び外部資金獲得状況</li> <li>・令和5年度科学研究費獲得状況</li>   <li>・令和5年度受賞状況</li>   <li>・論文数及び被引用TOP10%論文数</li> </ul>	<p>適切である</p>
<p>社会・経済・文化の領域における研究成果の活用状況や関連組織・団体からの評価等から判断して、社会・経済・文化の発展に資する研究が行われているか。</p> <p>(A-2-③)</p>	<p>社会・経済・文化の発展に貢献する研究の実施や研究成果を発出していること</p>	<p>研究成果が社会・経済・文化の発展へ貢献していることを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同研究、受託研究受入状況（外部資金受入状況より）</li> <li>・共同研究の推移</li>   <li>・公開講座等（令和5年度実績）</li> <li>・特色ある取り組み（地域連携）</li> </ul>	<p>適切である</p>

## 2.結果総括

### 【優れた点】

#### ●熊本大学病院における研究支援研究費「熊本大学病院研究活性化プロジェクト」の設立

熊本大学病院においては、病院又は大学院生命科学研究部の臨床系の講座に所属する研究者を研究代表者とし、これらの組織以外の組織に所属する研究者を研究分担者として加えることを必須要件とすることで、先進医療に発展しうる研究シーズの探索や新規診断・治療法の開発につながる臨床・基礎・異分野融合共同研究を活性化することを目的として、令和4年度から令和5年度に掛けて、研究支援研究費「熊本大学病院研究活性化プロジェクト」を設立した。単年度1億円という、学内公募型研究助成事業としては、大規模な予算を確保している。

2年目である令和5年度は、令和4年度からの継続支援課題である5件に加え、新規申請13件中4件を採択し、計9件の支援を行った。支援課題は積極的に学会発表や論文投稿で成果の公表を行っており、令和5年度末には院内での成果報告会を行った。

(参照資料→A-1-② 令和5年度「熊本大学病院研究活性化プロジェクト」公募要領、採択一覧/A-1-③ 令和5年度における評価結果)

#### ●公正な研究の推進と不正防止体制の整備

公正研究推進会議及び公正研究推進事務室においては、研究不正の防止等のため、組織全体を通しての意識醸成を図っているところである。意識醸成を図る目的として、構成員に対して毎年実施している「熊本大学における研究不正防止計画」に基づく意識調査について令和4年度から回答を義務化したため、回答率は前年度比で68.5%増加した。これを受け、令和5年度は、前年度により多くの構成員から集めた意識調査の回答を分析し、特に構成員の意識が低いと思われる内容を、年に4回構成員に送付する「公正研究便り」に反映させるなどの工夫を行った。また、不正防止体制の整備に関して、研究倫理教育の徹底を図り、研究者及び事務系職員のいずれも受講率100%を達成した。

(参照資料→A-1-② 研究倫理教育受講状況：研究者及び事務職員（R5年度末時点）、公正研究便り（Vol.13～16）)

### 【改善を要する点】